

分析結果報告書〔 6 〕 1 / 2

2 . 3 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：カルシウム）

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO / IEC 17025 (ガイト 25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	() 年
分析主担当者の実績（年間の分析試料数）	()

回数	分析結果（mg/L） 注 1)	検出下限値未満での検出下限値 注 3)
1 回目	検出下限値以上 注 2)	
2 回目		
3 回目		

注 1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注 2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字 3 桁で記入する。

注 3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字 1 桁で記入する。

1 . 検液（溶出液）の作成

分析結果報告書〔 4 ~ 6 〕（共通）（ 2 . 0 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：検液（溶出液）の作成））に記入する。

2 . 検定の方法（各項目の分析方法）

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1 . キレート滴定法 2 . フレーム原子吸光法 3 . ICP 発光分光分析法 4 . イオンクロマトグラフ法 5 . その他 ()
使用した水	1 . 蒸留水 2 . イオン交換水 3 . 超純水 4 . その他 ()

< キレート滴定法 >

試料（溶出液）量	() mL
準備操作（前処理）	1 . 前処理を行わない 2 . 塩酸による処理 3 . 硝酸による処理 4 . その他の処理 ()
試料の希釈	希釈倍率 () 注 1)
10mmol / L E D T A の滴定値	1 回目 () mL 2 回目 () mL 3 回目 () mL

注 1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

< フレーム原子吸光法 >

試料（溶出液）量	() mL
準備操作（前処理）	1 . 前処理を行わない 2 . 塩酸による処理 3 . 硝酸による処理 4 . その他の処理 ()
試料の希釈	希釈倍率 () 注 1)
原子吸光分析装置 バックグラウンド補正	1 . 行わない 2 . 重水素ランプ 3 . 偏光ビーム 4 . SR 補正（自己反転法） 5 . その他 ()
測定波長	() nm
フレーム	1 . アセチレンー空気 2 . アセチレンー酸化二窒素 3 . その他 ()
ランタノ () 溶液の添加	1 . 添加する 2 . 添加しない 3 . その他の添加 ()

注 1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

分析結果報告書〔 6 〕 2 / 2

< ICP発光分光分析法 >

試料（溶出液）量	() mL
準備操作（前処理）	1．前処理を行わない 2．塩酸による処理 3．硝酸による処理 4．その他の処理()
試料の希釈	希釈倍率() 注1)
ICP発光分光分析装置 装置の型式	1．波長走査(シーケンシャル) 2．波長固定(マルチ) 3．CCD検出器 4．CID検出器 5．その他()
バックグラウンド補正	1．行う 2．行わない
超音波ワライザーの使用	1．使用しない 2．使用する
測定時間	()秒
測定波長	()nm

注1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

< イオンクロマトグラフ法 >

準備操作（前処理）	1．前処理を行わない 2．塩酸による処理 3．硝酸による処理 4．その他の処理()
試料（溶出液）の希釈（希釈倍率）	希釈倍率() 注1)
溶離液の種類	()
分離カラムの種類	()
イオンクロマトグラフ メーカー型式 区分	() 1．サプレッサー型 2．ノンサプレッサー型
注入量	() μL

注1) 希釈しない場合には、希釈倍率を「1」とする。

< 検量線の作成等 >

定量方法 方法 内標準法：内標準物質の種類	1．絶対検量線法 2．標準添加法 3．内標準法 1．イットリウム(Y) 2．インジウム(In) 3．イッテルビウム(Yb) 4．タリウム(Tl) 5．ビスマス(Bi) 6．ベリリウム(Be) 7．ロジウム(Rh) 8．レニウム(Re) 9．テルル(Te) 10．ガリウム(Ga) 11．ゲルマニウム(Ge) 12．スカンジウム(Sc) 13．コバルト(Co) 14．その他()
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	() 最小() mg/L ~ 最大() mg/L 注2) ()
試料の指示値	1回目() 注3) 2回目() 3回目()
空試験の指示値	() 注4)
検出下限値	() mg/L 注5)

注2) 分析装置で測定する溶液中の濃度（mg/L）を示す。

注3) 標準添加法では「添加のない試料」の値を示す。

注4) 標準添加法では記入しない。

注5) 試料中の濃度（mg/L）を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び 問題と感じた点	
------------------------------	--

計算式	
-----	--